

2014年度全日本学生ヨット個人選手権大会
2014年全日本学生シングルハンドレガッタ

開催地：愛知県蒲郡市 豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖

大会期日：平成26年9月4日(木)～平成25年9月7日(日)

共同主催：全日本学生ヨット連盟 中部学生ヨット連盟

公認：(公財)日本セーリング連盟【H26-6】

後援：蒲郡市、蒲郡市教育委員会、蒲郡市体育協会
愛知県ヨット連盟、日本470協会、日本スナイプ協会、日本レーザークラス協会

特別協賛：日建・レンタコムグループ

協賛：蒲郡市観光協会

協力：豊田自動織機海陽ヨットハーバー

レース公示

1. 規則

1. 本大会は「セーリング競技規則2013-2016」(以下RRS)に定義された規則を適用する。但しこれらの規則等のうち、本帆走指示書(以下指示)によって変更されたものを除く。
2. RRS付則Pの「セール番号」を「エントリー番号」に置き換え適用する。
3. 最新の470クラス学連申し合わせ事項、最新のスナイプクラス学連申し合わせ事項、全日本学生ヨット連盟規約を適用する。
これらは全日本学生ヨット連盟にて入手することができる。

2. 競技種目

2014年度全日本学生ヨット個人選手権大会：国際470クラス、国際スナイプクラス
2014年全日本学生シングルハンドレガッタ：レーザークラス

3. 広告

国際470クラス、国際スナイプクラスは艇体の添付Aに示す位置に、学連申し合わせ事項にもとづき所属大学名のステッカーを貼らなければならない。

4. 日 程

9月4日 (木) 受付 計測 9:30~16:00

9月5日 (金) 受付・計測 8:30~10:00
競技運営説明会 10:00~10:30
開会式 11:00~11:30

1日目の最初のレース スタート予告信号予定時刻
国際470クラス 13:00
国際スナイプクラス 13:05
レーザークラス 13:10

9月6日 (土) 2日目の最初のレース スタート予告信号予定時刻
国際470クラス 9:00
国際スナイプクラス 9:05
レーザークラス 9:10

9月7日 (日) 3日目の最初のレース スタート予告信号予定時刻
国際470クラス 9:00
国際スナイプクラス 9:05
レーザークラス 9:10
9月7日に表彰式及び閉会式を実施する

1. 本大会のレース数は、各クラス最大8レースとし、各クラス3レースをもって成立とする。
2. 1日に実施するレース数はレース委員会の裁量によるものとする。
3. 各日程における各クラスの次のレースはそれぞれ可能となれば、引き続き実施する。
4. 9月5日、9月6日は16:01以降、7日は13:01以降に予告信号は発せられない。

5. 資格及びエントリー

1. 国際470クラス、国際スナイプクラスは1チーム選手3名、レーザークラスは1名とするが、ヘルムスマンの変更は認められない。
2. 選手は全日本学生ヨット連盟規約6条を満たしていること。
3. 選手及び監督・コーチは2014年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
4. 国際スナイプクラスの選手は2014年度SCIRA登録済みであること。

6. 艇

1. 艇は原則自己所有艇とするが、レース委員会が認めた場合は、チャーター艇も可とする。
2. 艇は2014年度団体登録済であること。
3. 国際スナイプクラスの艇は2014年度SCIRA登録済であること。

7. セール

1. 各チームが持参し、1セットの予備セールを含んだ2セットまでとする。また、レーザークラスには主催者が用意したチャーターセールも可とする。
2. 同一のセール番号、同一のエントリー番号を同時に使用してはならない。
3. オリジナルのセール番号に数字・形象等を付加した、各クラス協会に登録されていないセール番号を使用してはならない。
4. 国際470クラスのメインセールとスピナーカーのセール番号は同一でなければならない。
5. レース中、セールにレース委員会が準備したエントリー番号を添付Bにて指定された位置に貼り付けなければならない。これはRRS77及び付則Gを変更している。

8. 計測

1. 参加するチームは、艇体およびセールに関する各水域のオフィシャル・メジャーラーによる大会事前計測を完了したことを証明する「大会計測完了証明書」を提出するとともに、「大会計測済みスタンプ」の確認を計測受付にて受けなければいけない。
2. 「大会計測完了証明書」発行後は、改造を行ってはいけない。計測後に改造を行った場合は、再計測を受けなければいけない。

9. 参加申込み方法

参加資格のあるチームは『別紙申込書類一式』『エントリー料・エントリー番号料の振込み領収書のコピー』、レーザークラスをチャーターする場合は、『チャーター料の振込み領収書のコピー』を平成26年8月5日(火)17時までに郵送もしくは、電子メールで必着すること。

郵送先

郵便番号 444-0701

住 所 愛知県西尾市東幡豆町西前田 30

氏 名 小嶋 光稀

電話番号 090-3851-1291

E-mail:wjmtkwj@yahoo.co.jp

振り込先

三菱東京 UFJ 銀行 松阪支店 店番532 普通0090143

口座名義 全日本学生ヨット選手権(ゼンニホンガクセイヨットセンシュケン)

振り込みは、大学名と個人名を両方記入の上振込して下さい。

例 アイチダイ アイチタロウ

締め切り以降の申し込みに対しては、レイトエントリー扱いとし、8月15日(金)17時までに限り、所定のエントリーフィーに対し50%のペナルティーフィーを支払う事を条件に参加を認める。ただしこの場合、パンフレットへの名前は掲載されないことがある。

10. 参加料

エントリー料	国際470クラス、国際スナイプクラス	20,000円/艇
	レーザークラス	10,000円/艇
エントリー番号料		1,500円/艇
レーザークラスチャーター料（野積み代含む）（予定）		
	（イ）セールを含む一式	11,000円
	（ロ）セールのみ除く一式	8,000円
	（ハ）艇体およびスパー	6,000円

- （注） 1. エントリー料には、大会期間中（9月4日から9月7日）のハーバー使用料（野積み使用料除く）を含む。ただし、9月4日の出艇に関わる水代等の費用は含まない。この期間以外は、各チームでハーバー使用料を支払うこと。
2. レーザークラスのチャーターの申込は、別紙申込書にて9の郵送先に送付することにより申込みを行うことができる。但し艇数に限りがあるため、先着順とする。
3. レーザークラスの艀装は、新コントロールシステム

11. 帆走指示書の交付

- 平成26年8月1日（金）までに各水域学連委員長宛に送付するとともに、愛知県ヨット連盟のホームページへ掲載する。
- 帆走指示書に対する質問は、8月23日（土）までに参加申し込み郵送先に到着するように、文書で提出の事。
質問に対する回答は、競技運営説明会開始までに公式掲示板に掲示される。

12. 受付

参加チームは大会本部で次の書類等を提出し受付を完了させなければならない。

- ① 選手の（公財）日本セーリング連盟会員証。
- ② 監督・コーチの（公財）日本セーリング連盟会員証又はそのコピー。
- ③ 国際470クラスは計測登録証明書及び INTERNATIONAL 470CLASS MEASUREMENTFORM を、国際スナイプクラスは計測証明書。
- ④ 国際スナイプクラスの選手の SCIRA 登録会員証。
- ⑤ 支援艇・応援艇登録書

13. 得点

- 艇のシリーズ得点は、完了したレースが5レース以下の場合、全レースの合計得点とし、6レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 最優秀選手の選出において、国際470クラス、国際スナイプクラスで成立したレース数が異なる場合、艇の得点の平均値（小数点以下2位を四捨五入）を求め、少ない方を上位とする。
これでもタイとなった場合は、成立したレース数が多いクラスの選手を上位とする。成立したレース数が同じで得点がタイとなった場合は、RRS A8を適用する。

14. コース

1. 添付 C の見取り図はレグ間の通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。

15. 安全規定

各クラスは下記安全装備を搭載し、何時でも使用できるようにしておかなければならない。

1. 国際スナイプクラス：直径 8 mm 以上、長さ 15 m 以上のパウライン
2. レーザークラス：直径 6 mm 以上、長さ 5 m 以上のパウライン

16. 賞

賞は次のように与えられる。

国際 470 クラス、国際スナイプクラス	賞状	1 位～6 位
	賞品	1 位～3 位
レーザークラス	賞状	1 位～3 位
	賞品	1 位～3 位

国際 470 クラス、国際スナイプクラスの 1 位の選手には小澤杯を授与する。

国際 470 クラス、国際スナイプクラスの中で最少得点の選手には関山旗を授与する。

17. 支援艇・応援艇

海陽ヨットハーバーから出艇する支援艇・応援艇を持込む場合、その艇は毎日上架出来る仕様であること。

但し、インフレーターボートを除き、海陽ヨットハーバーにて常時保管されている艇については、この限りでない。

海陽ヨットハーバーに一時的でも入港する支援艇・応援艇は、海陽ヨットハーバーの所定の手続きを行い、使用料を支払うこと。

18. 責任の否認

1. 競技者は、自分自身の責任において本大会参加している。
(RRS 4 「レースをすることの決定」を参照)
2. 主催団体は、本大会前、本大会中、本大会後に関連して受けた物的損傷または個人の負傷、もしくは死亡に対するいかなる責任を否認する。

19. 大会期間中の選手の肖像権

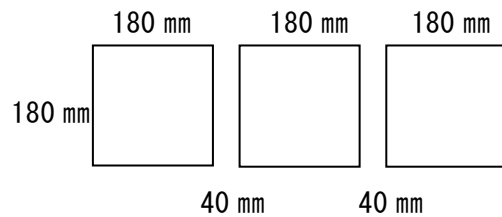
本大会期間中の、艇、選手に関連する写真、ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は主催団体に帰属する。また、これら写真は、ホームページ等へ掲載されることがある。

20. 問い合わせ先

中部学生ヨット連盟 委員長 氏名：中西 真紀

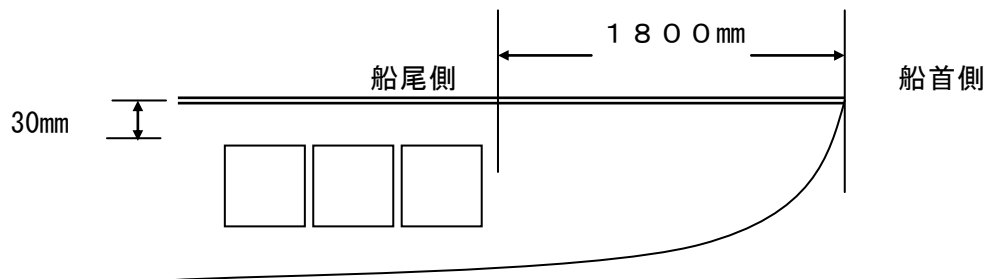
TEL : 090-5853-3897 E-mail : 511139@m.mie-u.ac.jp

添付A：艇体へのステッカー貼り付け位置



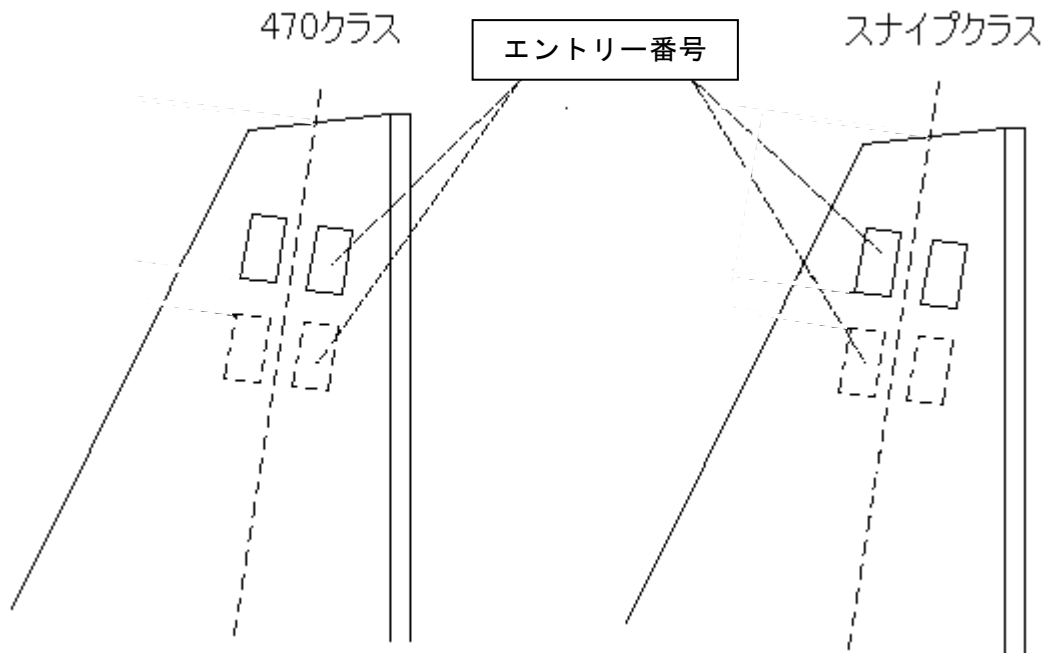
字体：ゴシック
 色：黒
 太さ：25 mm

- ・ 大学名シールは、各大学（または水域）で作成する。
- ・ 貼付位置は前部デッキのステムから後方 1800 mm より後ろ近い部分の両側板部分とする。ただし、文字の大きさは 180mm 以上であれば任意とし、それに伴った字間、太さの変動は認める。また、艇体が濃色で黒色では見えにくい場合に限り、白色で表示することも可とする。



* 取り付け位置の若干の誤差は無視する。

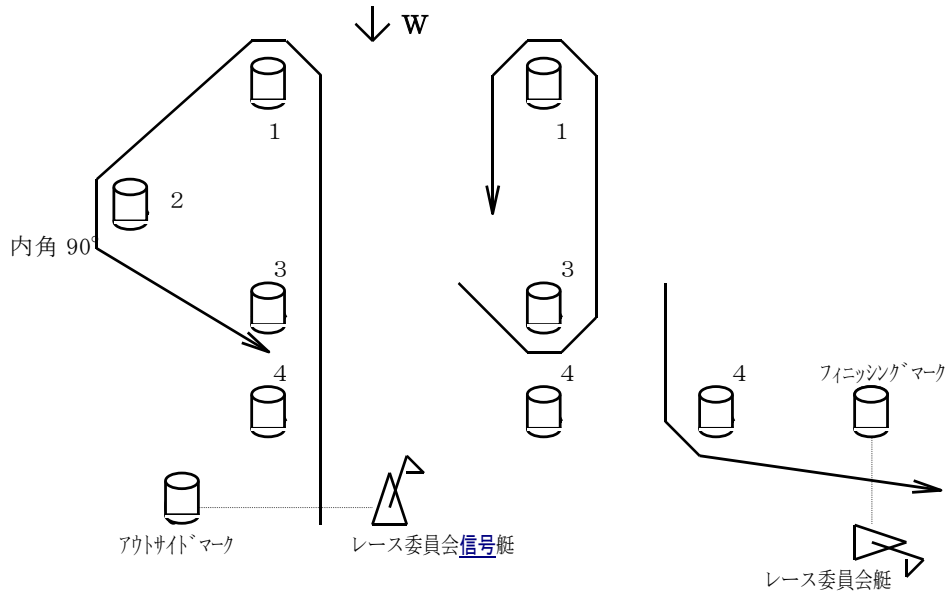
添付B：セールへのエントリー番号貼り付け位置



エントリー番号は、セールのトップパネル上部の左右の中心付近に取り付けること。
 スタボートとポートのナンバー、クラスマークがそれぞれ重ならないようにすること。
 エントリー番号はスタボート側が上にくるようにすること。

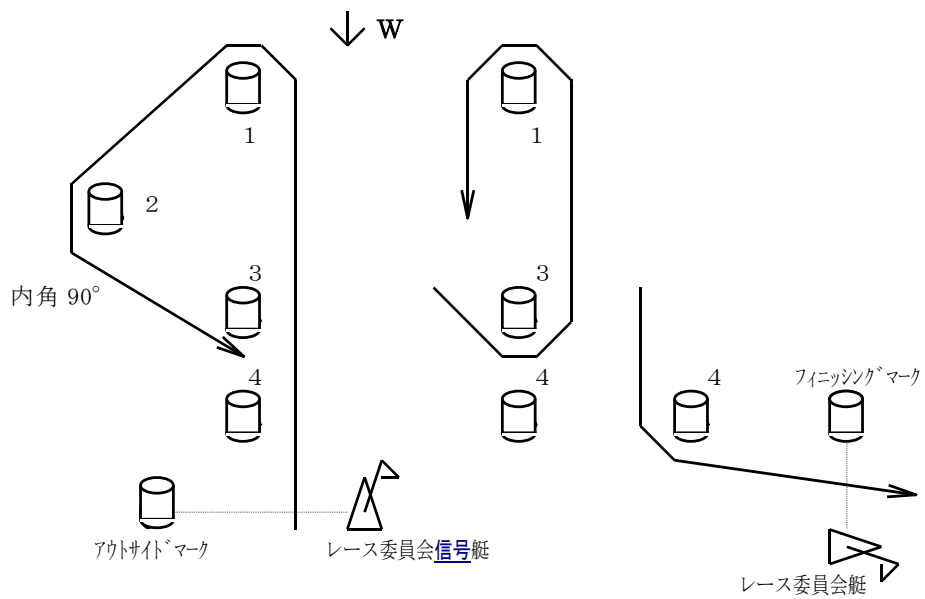
添付 C : コース見取り図

国際470クラス、国際スナイプクラス

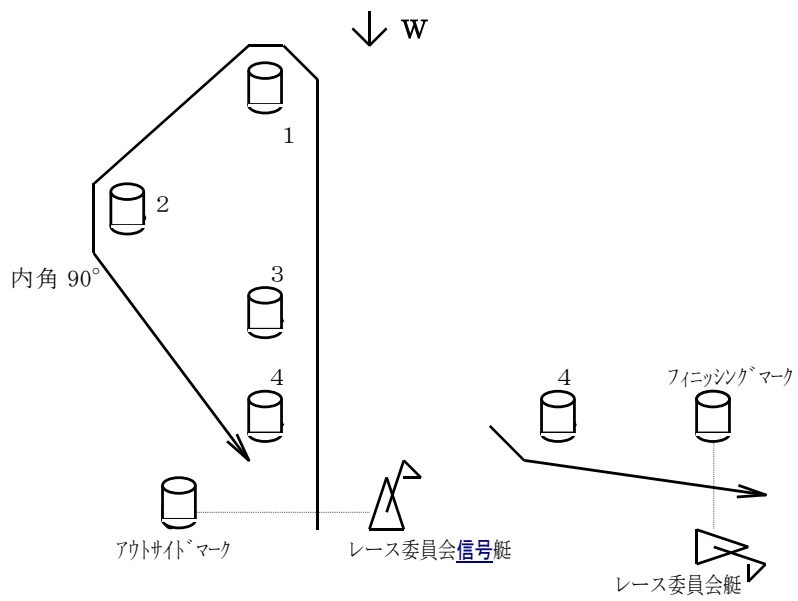


(S - 1 - 2 - 3 - 1 - 4 - F)

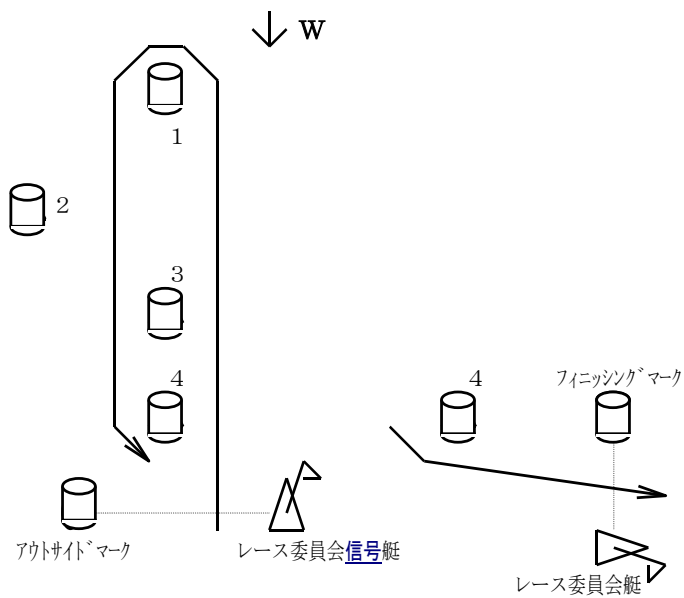
レーザークラス



コース 1 (S - 1 - 2 - 3 - 1 - 4 - F)



コース 2 (S-1-2-4-F)



コース 3 (S-1-4-F)

以上